

2 ひこさん 英彦山・犬ヶ岳地域



犬ヶ岳の稜線

地域を特徴づける野生生物

[植物] オオフジシダ (A), ナガホノナツノハナワラビ (A), ヒメサジラン (B), ミスミソウ (A), シシンラン (A), ヒロハテンナンショウ (), トリガタハンショウヅル (), アオバスケ (準) など。

[動物] ヤマネ (A), ムササビ (地域個体群) など。

天然記念物

「犬ヶ岳ツクシシャクナゲ自生地」(国指定), 「ゲンカイツツジ」(県指定)



ヒロハテンナンショウ



オオフジシダ

英彦山・犬ヶ岳地域は大分県の北端にあって、英彦山(1999.6m)から犬ヶ岳(1130.2m), 経読岳(992m), 雁股山(807m)と連なる稜線は福岡県との県境となる。一帯は日田耶馬英彦山国定公園区域となっている。山岳地域の地質は、筑紫溶岩並びに耶馬溪層からなり、平地は河岸段丘と沖積低地からなっている。気候は山地型で冬季の冷え込みが厳しく降雪量も多い。山国川沿いの平地は人類文化圏の水田耕作地となり、山腹はスギ・ヒノキの植林地が広がっていて、尾根筋の一部にコナラ林やアカマツ林がみられる。山系の自然植生は稜線部分にブナ林が残り、ツクシシャクナゲが群生する。尾根ではツガ林が発達している。また、岩場では自生のヒノキ林、渓谷地形のところではシオジ林がみられるが、いずれも面積は狭い。